

## 第124回春期大会優秀ポスター発表賞 受賞者



**P09** スピノーダル分解を利用した超微細粒・時効硬化型Al-MgおよびAl-Ag合金の強化機構の並立

横浜国立大学大学院 後藤 航 君

この度は優秀ポスター発表賞をいただき、大変光栄です。ポスター作製ではTEM写真を多用することで視覚的に理解しやすくなるよう意識したことで、多くの方に目に留めて

頂け、それが今回の受賞に繋がったのではないかと思います。初めての学会発表で内容もまだまだ甘い所がありましたが、発表の中で多くのご指摘を頂きましたので、今後それらを参考にさらに研究を進めていきます。最後に、日頃よりご指導いただいている廣澤渉一先生に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



**P10** 引張変形したAl-9%Mg合金の粒界からの水素放出

茨城大学大学院 小山 僚人 君

この度は、優秀ポスター発表賞を頂きまして、誠にありがとうございます。今回の発表では、「粒界上から放出された水素と表面起伏との関係」に着目し、来場された方々と活発な意見交換が行えるよう心掛けました。そのために、自分から積極的に話しかけたことや、研究の要点をまとめて簡潔に説明できるよう努めたことが評価に繋がったと思っています。最後に、日頃からご指導・ご協力頂いております伊藤吾朗先生、伊藤伸英先生、研究室の皆様

に厚く御礼申し上げます。



**P29** 摩擦ロール表面処理後温度勾配焼きなましされた1050アルミニウム板材表面層の集合組織解析

宇都宮大学大学院 荒川 卓弥 君

この度、優秀ポスター発表賞を頂き大変光栄です。ポスター作成に当たり、本研究では摩擦ロール表面処理（FRSP）および温度勾配を用いた熱処理と独自の方法を用いている

ため、その意図を明確かつ簡潔に説明をできるように努力したことを評価して頂けたのではないかと考えております。最後に、日ごろご指導頂いている高山善匡先生、山本篤史郎先生、また研究室の皆様

にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。



**P34** ECAP加工を施したAC4CH合金鑄造材における共晶Si粒子の分布状態の評価

山梨大学大学院 猿渡 直洋 君

優秀ポスター発表賞を頂き大変光栄に思います。今回の発表では本研究の重要ポイントのみを丁寧かつ正確に説明することを意識しました。また、ポスター制作では図の配色を工夫したり、模式図を多用したりして「視覚

的なわかりやすさ」を心がけました。この点が評価されたと考えています。ご指導頂いている中山栄浩教授や今回の講演大会を通じて多くのご指摘を下さった先生、技術者の方々に心より御礼申し上げます。

(iii)



**P36 Mg-RE-Zn-Ca-Zr合金の組織および機械的性質に及ぼす押し出し温度の影響**

長岡技術科学大学大学院 山村 勇貴 君

この度は優秀ポスター発表賞を頂き大変光栄に思います。本研究では、3つの強化相 ( $\beta'$ 相, 規則GPゾーン, LPSO相)を同時に析出させることに成功し、その結果、クリープ特性の改善, 集合組織形成に伴う圧縮耐力の劣化の抑制を達成できたことを評価されたものと思っています。最後に、日頃から多大な叱咤激励を頂きました鎌土重晴教授ならびに(株)IHIの尾崎智道氏に心より御礼を申し上げます。



**P37 不燃・高強度マグネシウム合金の組織と機械的特性**

熊本大学大学院 伊東 剛史 君

この度は優秀ポスター発表賞を頂き、大変光栄に思います。ポスター作製においては、ポスターを見た方が一目見ただけで載せている図面で表現したいことを理解して頂けるように心がけました。評価された点としては、できる限りわかりやすい言葉を選び、相手に聞き取りやすい声で伝えることを意識しました。



**P40 不燃・高強度マグネシウム合金の耐食性**  
熊本大学大学院 三嶋 亮洋 君

この度は、名誉ある軽金属学会で優秀ポスター賞を頂けてとても光栄に思います。ポスター作成においては、最終的な結言に至るまでの実験結果と考察の流れを意識し、結言に至るのに必要な情報に絞って見やすいように作成しました。発表当日は多くの研究者の方から質問を頂き、質の高い議論ができたと思います。この場を借りて、日ごろご指導を頂いている河村先生、山崎先生に厚く御礼申し上げます。



**P43 材料強度評価方法開発のための工業用金属材料の二次元切削**

芝浦工業大学大学院 小林 遼 君

この度は、優秀ポスター発表賞を頂き、大変光栄に思っております。今回の発表では切削加工に関する研究が少ないこともあり、誰にでもわかるような説明を心がけ、研究のフローもわかりやすく図表等を配置するよう工夫したところが受賞に繋がったと思います。受賞に関してご指導頂きました青木孝史朗先生、坪内昌生先生、横浜技術研究所の皆様、および研究室の皆様へ深く御礼申し上げます。